【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成25年4月18日(2013.4.18)

【公表番号】特表2012-519816(P2012-519816A)
【公表日】平成24年8月30日(2012.8.30)
【年通号数】公開・登録公報2012-034
【出願番号】特願2011-553064(P2011-553064)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｋ　17/38　　(2006.01)
Ｆ１７Ｃ　13/04　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｋ　17/38　　Ｚ
Ｆ１７Ｃ　13/04　　３０１Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成25年3月1日(2013.3.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
装置であって、
第１の位置にあるレバーを備える弁であって、該第１の位置にある該レバーにより弁が閉じられる、弁と、
前記レバーに接続された第１の端部を有する長尺の形状記憶合金要素であって、前記形状記憶合金要素は、第１の長さを有するように引っ張られ、前記形状記憶合金要素の少なくとも一部分を、該形状記憶合金要素のオーステナイト変態温度の温度または該オーステナイト変態温度を超える温度に曝すことで、前記形状記憶合金要素を前記第１の長さ未満の第２の長さに縮めて、該形状記憶合金要素の前記第１の端部が前記レバーを第２の位置へと牽引して、前記弁が開かれる、形状記憶合金要素と、
前記レバーを第３の位置に付勢する付勢要素であって、該第３の位置に付勢された前記レバーにより前記弁が開かれる、付勢要素と
を備える、装置。
【請求項２】
請求項１に記載の装置であって、
前記弁は、圧力放出弁である、装置。
【請求項３】
請求項１または請求項２に記載の装置であって、
圧力容器上に配置される、装置。
【請求項４】
請求項３に記載の装置であって、
前記弁は、前記圧力容器のボス上に搭載される、装置。
【請求項５】
請求項３に記載の装置であって、
前記長尺の形状記憶合金要素は、前記圧力容器の長さに沿って配置される、装置。
【請求項６】
請求項１～５のいずれか１項に記載の装置であって、

前記弁は、１／４回転弁である、装置。
【請求項７】
請求項１～６のいずれか１項に記載の装置であって、
前記形状記憶合金要素の少なくとも一部分が内部に配置される管をさらに備える、装置。
【請求項８】
請求項７に記載の装置であって、
前記管は、複数の穿孔を備える、装置。
【請求項９】
請求項１～８のいずれか１項に記載の装置であって、
前記形状記憶合金要素は、位置的に固定されている第２の端部を有している、装置。
【請求項１０】
請求項１～８のいずれか１項に記載の装置であって、
前記形状記憶合金要素は、第２の弁における第２のレバーに接続される第２の端部を有している、装置。
【請求項１１】
請求項１～１０のいずれか１項に記載の装置であって、
前記レバーの前記第１の位置および前記レバーの前記第２の位置は、９０°の回転角度だけオフセットされる、装置。
【請求項１２】
請求項１～１１のいずれか１項に記載の装置であって、
前記第３の位置は、前記レバーの前記第１の位置と前記レバーの前記第２の位置との間のオフセットの回転方向と反対の回転方向に９０°の回転角度だけ前記第１の位置からオフセットされる、装置。
【請求項１３】
請求項１～１２のいずれか１項に記載の装置であって、
前記付勢要素は、ばねである、装置。